



# 熊本市 感染症発生動向調査 速報

## ●A群溶血性レンサ球菌咽頭炎に気をつけましょう

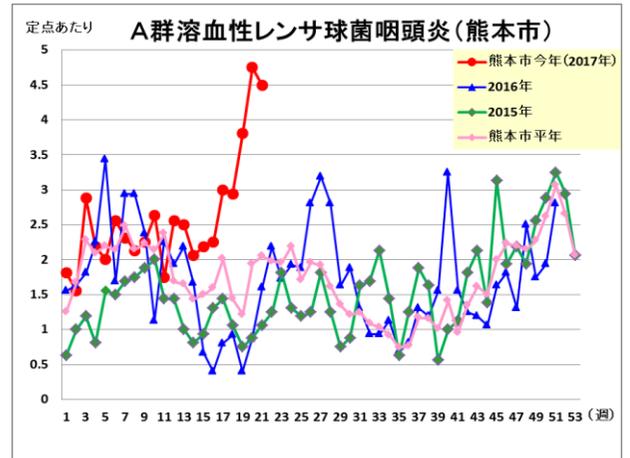
症状のある人との密接な接触を避けることがとても大切です。  
 手洗い、うがいもしっかりおこない、引続き注意しましょう。

(A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の警報レベルは定点あたり8)

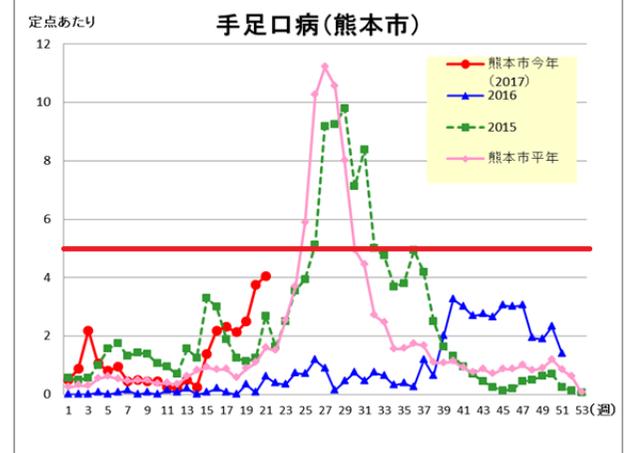
## ●手足口病が引き続き増加傾向にあります

(九州各県で警報レベル(定点あたり5)を超えています。)

手足口病はコクサッキーウイルスをはじめとする、  
 エンテロウイルスの感染によって、口の中や、  
 手足などに小さな水ぶくれ(水疱)ができる感染症です。  
 発生の9割が、5歳以下の乳幼児です。



赤線が警報レベル(定点あたり5)



### ◆かかったらどうすればいいの？

- ・ほとんどの場合、特別な治療は必要なく自然に治りますが、まれに髄膜炎や脳炎を合併することがあります。
  - ・元気がなくぐったりしていたり、頭痛や嘔吐、高熱、2日以上の高熱があるときは、すぐに医療機関を受診しましょう。
  - ・口の中を痛がって、水分や食事がとれなくなることがあります。
- 薄味でやわらかいもの、白湯やスポーツ飲料などをこまめにとらせ、脱水にならないようにすることが大切です。

### ◆予防法は？

- ・手洗いが基本です。特に感染者の排便後の手洗いが重要です。感染しているこどものおむつを取り替えたり、鼻水をとったりした後は、しっかり手を洗いましょう。

期 間		平成29年 20週		平成29年 21週	
		5/15～5/21		5/22～5/28(最新)	
疾患名	疾患の増減	報告数	定点当り	報告数	定点当り
インフルエンザ	↓	23	0.92	14	0.56
RSウイルス感染症	↓	2	0.13	0	0.00
咽頭結膜熱(プール熱)	↓	8	0.50	10	0.63
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 ⚠	↑	76	4.75	72	4.50
感染性胃腸炎	↑	74	4.63	98	6.13
水痘(みずぼうそう)	↓	2	0.13	8	0.50
手足口病 ⚠	↑	60	3.75	65	4.06
伝染性紅斑(りんご病)	↓	1	0.06	3	0.19
突発性発しん	↓	15	0.94	11	0.69
百日咳	→	0	0.00	0	0.00
ヘルパンギーナ	→	1	0.06	1	0.06
流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	→	5	0.31	4	0.25
急性出血性結膜炎	→	0	0.00	1	0.20
流行性角結膜炎(はやり目)	↓	10	2.00	8	1.60
細菌性髄膜炎	→	1	0.20	0	0.00
無菌性髄膜炎	↓	3	0.60	1	0.20
マイコプラズマ肺炎	→	1	0.20	0	0.00
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	→	0	0.00	0	0.00
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	↓	3	0.60	0	0.00